

奈良県立五條高等学校 平成 29 年度 学校運営協議会 分校部会（第 1 回）

- 1 日 時 平成 29 年 7 月 19 日（水） 13 時 30 ～ 15 時
- 2 場 所 奈良県立五條高等学校 賀名生分校 校長室
- 3 参加者 （委 員）國松真也委員、柳澤佳孝委員、沼田守弘校長
（事務局）田村隆眞（分校教頭）、
花岡重之（分校教務部長）、山口敦弘（分校生徒指導部長）
（記 録）岡本由紀（分校総務部長）

4 内 容

(1) 校長あいさつ

(2) 委員委嘱



(3) 内容

分校教育の現状について

五條市並びに西吉野地区の農業の将来性について

・（報告）

- ・ 出席状況、特別指導状況、課外活動状況を説明。
- ・ 農業科としての取組み、事例を説明。農業分野職場体験候補先を紹介。
- ・ 分校の全国募集に向けて、五條市広報への記事の掲載・特色選抜実施・パンフレットの製作・寄宿舎の竣工等、現状報告。

（質問・委員）

今後、野菜等の圃場は、学校で確保できているのか。

（回答・事務局）

検討をすすめているが、まだ現状では、皆さんに発表できる段階ではない。

（意見・委員）

生徒さんが農家で実習する際は、ある程度の農業の基礎知識を学んだ上で、来ていただくのが理想。

（意見・事務局）

農家に任せっぱなしにはいかないので、今後の課題として検討する。

（意見・委員）

地元農家の協力を得ながら、この高校に来て良かったと思ってもらえる学校にしてほしい。

（意見・事務局）

今年の北海道実習で 4 年生の生徒たちは「来て良かった」、「帰りたくない」と感動を感じていた。入学当初に感動を与えてやれたら、農業への理想も持て、楽なのかなと。その上でも、「入り口」となる圃場の整備は欠かせない。

(意見・委員)

一年生の間に大学の研究機関や農家への見学を実施する等、「農業は幅広い」ということを学ぶというのもよい。

(意見・事務局)

果樹や野菜、草花が選択できるようなカリキュラム組めたらと考えている。

(意見・委員)

自分たちで販売して、直接食べてもらって、お客さんの反応を見ることは大きい。お客さんに喜んでもらえる実感も必要です。最後が見えないと作り甲斐はない。私も地元農家ということで、協力できるところはさせていただきたい。

(意見・事務局)

心強い言葉をいただいた。賀名生分校ブランドを作り、販売・加工にも力を入れたい。

(質問・委員)

農業に特化した学校を目指しておられるが、実際に通う生徒たちはどうなのか。また、農業を目指していない生徒にはどういう対応をしていくのか。

(回答・事務局)

確かに、ミスマッチの起こる可能性はある。本校（五條高校）のスクールカウンセラーも活用することもできる。分校の実態に応じて、また新たな形を模索していきたい。

当初は農業に関心のない生徒も入ってくることも考えられるが、農業の魅力を伝え、楽しさ、感動を味わわせたい。ミスマッチをできるだけ少なくするためにも、今、中学校訪問をすすめている。

(校長まとめ)

お忙しい中、貴重なご意見をありがとうございました。分校にとって新たな取組みがスタートするという大切な年。一つ一つ歩みながら、新たにチャレンジしなくてはいけないことは思い切ってチャレンジし、また、学校だけでは学べないこともたくさんあり、皆さんには今後ともご意見・ご支援をたまわっていきたい。

(3) その他

・今後の予定について

第2回学校運営協議会 分校部会 賀名生分校にて
第2回学校運営協議会（全・定・分） 五條高校本校にて

